

実証事業実施者

水ing株式会社・神戸市・三菱商事アグリサービス株式会社 共同研究体

実証フィールド

神戸市東灘処理場

実証の概要

実証設備の建設・運転データの取得および解析、普及展開可能な低コストで運転管理容易なシステムの構築、下水処理場トータルでの運営コスト縮減効果、回収したリンの肥料の試作および肥料原料としての利活用等を実証

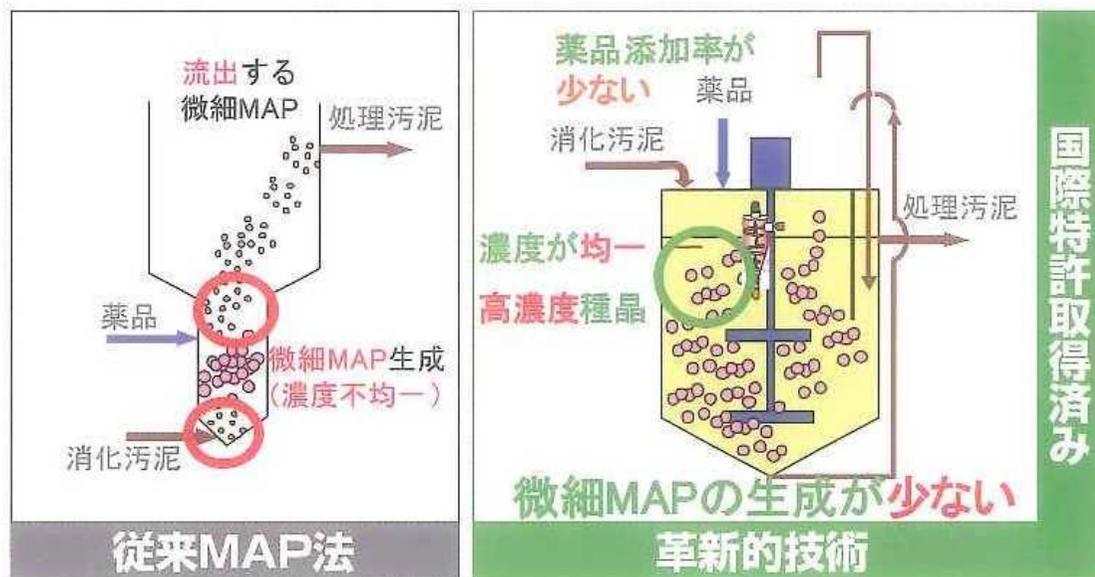
粘性の高い消化汚泥中の晶析でも、リアクタ内を完全混合状態にしながら種晶を常時高濃度とすることで、回収が困難な細かいMAPの生成を抑制する技術を採用



リン(MAP)

消化汚泥脱水ろ液を対象とした従来のリン除去回収技術と比較して

- ①リン回収量が大幅に増加
- ②薬品添加率を大幅に削減
- ③肥料原料利用の際のハンドリング性・加工性を向上



提案技術の新規性